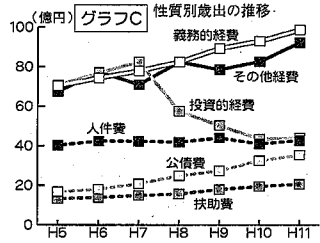
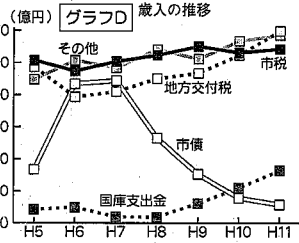


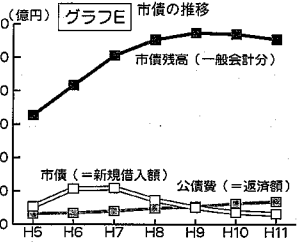
新津の財政事情



現在の新津市の財政状況はどうか。財政状況を数値で見ると、これは退職した市職員を補充しなかつたり、民間委託などを含む効率的な人員運用をしたりして人件費の節減に努めているためです。

数値で見ると 新津市の財政状況

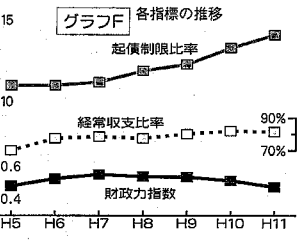
現在の新津市の財政状況はどうか。財政状況を数値で見ると、これは退職した市職員を補充しなかつたり、民間委託などを含む効率的な人員運用をしたりして人件費の節減に努めているためです。



次に、財政の硬直度を判断する指標として経常収支比率というものがあります(数値が小さいほど良い)。新津市の場合には八〇%を超え、自由に使えるお金が少なくなってきました。

さらに、借金がどのくらい財政を圧迫しているのかを示すものに起債制限比率というものがあります(数値が小さいほど良い)。一六%を超えると黄色信号とされ県の指導を受けますが、新津市の場合は一四%に達していません。

このように新津市の財政状況



は、固定した経費への支払いが自由に使えるお金の多くを占めるような状況となっています。

現実に見合った事業と財政の分析を

財政状況の公表や分析方法は今まで単式・単年度会計によって行われてきましたが、実際の社会基盤の整備や各種制度の運営は数年に渡って継続的に行われるのが一般的なことから、今までの財政分析手法では不十分部分があります。

このため市では、バランスシート(貸借対照表)による分析を進めています。バランスシートは民間企業などで財務状況を表すのに使われていて、単年度の数字の動きだけでなく過去から形成された資産や負債も計上するものです。これによりと市債の残高は借金である一方で、

これまでも市では、市民にとって真に必要なものは何か、既に役割を終えて形骸化しているものはないかと事業事業の見直しを行ってきました。

今後は、少子高齢社会に対応するための行政需要が増加することが予想されます。また、長期的な視野から、投資すべきものには投資することも必要です。そのためには従来の市の制度・機構を維持するだけでなく、常にコスト意識を持ち柔軟に組織を変化させていくことも考えながら効率的な運営をしていきます。

長年の事業によって形成された資産であることが分かります。また、事業事業が効果的に行われているかを評価する方法も検討しています。

厳しい財政状況の中より効率的な運営を

市有財産の概況
(平成12年3月31日現在、水道財産を除く)

- 土地: 2,083,722㎡
- 建物: 202,104㎡
- 基金: 48億6465万円

※基金とは、財政運営を円滑に行うための預貯金などにこのことをいいます。

平成11年度決算見込み

事業別の市債現在高

(平成12年3月31日現在)

事業名	市債残高
クリーンセンター	40億 8214万円
道路・橋りょう	34億 1853万円
義務教育施設	33億 9606万円
公園	22億 7702万円
減税および臨時収補てん償	22億 1964万円
金澤丘陵ふれあい文化ゾーン	21億 1780万円
県立植物園	13億 9881万円
新津地域学園	12億 5457万円
市役所庁舎	12億 1816万円
公共用地先行取得	10億 5790万円
街路	8億 6163万円
保健福祉センター	6億 4130万円
消防防災	6億 5042万円
排水路	5億 8075万円
住宅	5億 1346万円
社会福祉施設	4億 851万円
農林業施設	2億 8215万円
石油の里	2億 7580万円
公民館	1億 6837万円
幼稚園	1億 2007万円
保健体育施設	5305万円
市民会館	3223万円
その他各種記債	6億 6143万円
一般会計計	276億 8977万円
下水道事業特別会計	233億 6344万円
合計	510億 5321万円

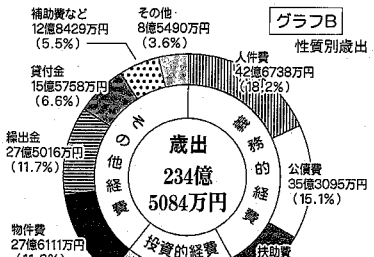
市債残高は約511億円

市債は道路や施設建設にあたって、一時的に多額な経費を必要とするため、負担を長期に分散させて年度間の調整を図ろうとするものです。また、できた施設は将来の市民にも活用されますので、世代間でも経費を公平に負担することにもなります。こうした、皆さんの家庭において家を建てる時に借りる住宅ローンと同じ性質のものですが、行政においては、道路や公園、学校などが市民の皆さん共有の財産として残ることになります。平成十一年度の市債残高は、右の表のように一般会計と下水道事業特別会計を合わせて五百十億五千三百二十一万円となりました。

増え続ける義務的経費

新津市の場合、左のグラフBのように市債残高はここ数年急増しました。主な内訳としては平成四年から七年にかけてのクリーンセンター建設や金津丘陵ふれあい文化ゾーン整備などがあげられますが、これらは単に借金を増やしただけなものではなく、その一方で将来に渡っての資産を築いた証でもあります。また、これらの建設事業は当時の景気浮揚対策として大型減税と合わせて積極的に実施された側面もあります。

今後は、家庭で収入に見合ったローンを組む必要があるように、伸び悩む歳入に見合った借入をする必要があります。



という性質を持ちます。投資的経費とは、普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費の三つを主に指し、その事業によって作られたものが、社会資本としての将来に残るものを指します。

義務的経費の割合が高くなることで、自由に使えるお金が少なくなり、社会や経済の変化に対応した事業を行うことが難しくなります。左のグラフCは、歳出の性別別分限の推移を表しているのですが、義務的経費とその他の経費が増加を続け、逆に投資的経費は減ってきています。

増え続ける義務的経費の中で人件費はほぼ横這いとなつてい

お買物、ご用命は市内で

INOS 「クラワールヒルズ ZENDOH」
好評分譲中

住宅のみ相談可能

●所在地/新潟市東区山手1丁目237-240番地 ●北地区現況/1坪(3.3㎡あたり) 25.5万円 ●区画図/51.09坪 (168.92㎡) - 83.49坪 (176.85㎡) ●建設期間/6/5区画 ●建築費/約400万円 ●上下水道/完成

お問い合わせ
TEL(22)3102 FAX(24)1083

株式会社 木下組 ☎0250(23)3916

買休み体験レッスン

心と体の交流基地
NPO カルチャーくらぶ

- ◆子ども絵画 ◆とも英会話
- ◆8/9・23(土) PM4:00~ ◆8/5・19(土) PM2:30~
- ◆木原園材 ◆DEREK ◆ノート&インピツ
- ◆好きな園材 ◆中高生の社交ダンス ◆中高校生の英会話
- ◆8/24・31(土) PM5:15~6:15 ◆8/12・26(土) PM2:30~
- ◆内藤正昭 ◆STEPHN ◆ノート&インピツ
- ◆びょうじゅヒール

浴室の全体改装・和風便器から洋風便器へ・流し台からシステムキッチンへ

“増改築”でもっと便利、もっと素敵に……

水まわり増改築専門店
水と住まいのふれあ
リフォームショップ **かねみや**

本町2丁目1-11 ☎24-1630